

## I 概況

### 1 内政

(1) ラウル・カストロ国家評議会議長及びフィデル・カストロ前国家評議会は、キューバを訪問したローマ法王フランシスコと会談を行った。

(2) 運輸大臣の交替

### 2 外交

(1) ディアスカネル国家評議会第一副議長が中国及び北朝鮮を訪問した。

(2) 第5回EUキューバ政治対話がハバナにて開催された。

(3) 第1回米キューバ二国間委員会がハバナにて開催された。

(4) ローマ法王フランシスコが、3人目の法王としてキューバを訪問した。

(5) ラウル・カストロ国家評議会議長は、国家元首として初めて米国を訪問し、第70回国連総会へ出席した。

(6) 第2回米キューバ首脳会談が行われた。

(7) サン・ベトナム国家主席がキューバを公式訪問した。

## II 内政

### 1 フィデル・カストロ前国家評議会議長

(1) 20日、同前議長私邸において、ローマ法王フランシスコと30-40分に亘り懇談し、貧困や平和の維持、人類存続等に関する関心事項について意見交換した。

(2) 同懇談には、フィデル前議長の家族など約10名が同席した。

### 2 閣僚の交代（運輸大臣）

10日、アロチャ運輸大臣に代わり、アデル・イスキエルド経済企画第一次官の運輸大臣就任が発表された。イスキエルド新運輸大臣は、共産党政治局のメンバー及び閣僚評議会副議長である。

### 3 第7回共産党大会へ向けた協議の開始

2016年4月16日に開催される第7回共産党大会へ向け、9月12日から市町村レベルでの協議・報告会が開始された。同協議においては、キューバ経済社会モデルの現代化プロセスの進捗状況等の確認作業が行われる。

## III 外交

### 1 ローマ法王フランシスコのキューバ訪問

(1) 9月19日から22日にかけて、ローマ法王フランシスコが3人目の法王としてキ

キューバ訪問を行い、ハバナ、オルギン、サンティアゴ・デ・クーバにおいて3回のミサを行った。

(2) 20日、ローマ法王は、フィデル前国家評議会議長と同前議長の私邸において30-40分に亘り懇談し、貧困や平和の維持、人類存続等に関する関心事項について意見交換した(上記II 1)。

(3) 20日、ラウル・カストロ国家評議会議長と革命宮殿において会談を行った。ラウル議長は、ディアスカネル国家評議会第一副議長やロドリゲス外相、ラソ人民権力全国議会議長等と共に、ハバナ、オルギン、サンティアゴ・デ・クーバの3都市で行われた全てのミサに出席した。

(4) ローマ法王フランシスコが仲介役となった米キューバ関係の改善について、法王は、キューバ到着時の空港における歓迎式典において「出会いと対話の勝利である」と述べた。

(5) 法王のキューバ訪問を、キューバ政府・国民が一体となって歓迎した他、法王到着前の11日には、キューバ政府は3,522名の収監者が赦免されると発表した。

## 2 対米関係

### (1) 第1回米キューバ二国間委員会の開催

9月11日、ハバナにおいて第1回米キューバ二国間委員会が開催され、キューバ側はビダル外務省米国総局長が、米側はリー (Alex Lee) 国務省西半球担当次官補代理が代表を務めた。

同委員会において、環境保全、防災、保健、民間航空、法の支配、麻薬、人身売買及び国際犯罪取り締まり、人権、気候変動等、両国が共に利益を享受することが可能となる分野について協力が行われ、両国間での協力メカニズムが創設される。

### (2) 対キューバ経済制裁の緩和措置

9月18日、米国財務省・商務省より、対キューバ経済制裁の新たな緩和措置が発表され、21日より有効となった。主に、観光分野、ビジネス・投資、送金における緩和措置であり、米国企業によるキューバでのオフィス等開設が可能となった他、送金限度額が完全に撤廃された。

### (3) 米キューバ首脳電話会談及び第二回米キューバ首脳会談

18日、ラウル・カストロ国家評議会議長は、第70回国連総会出席を前にオバマ米大統領と電話会談を行った。

また29日、NY訪問中のラウル議長は、オバマ米大統領と首脳会談を行い、両国の外交関係再樹立、大使館再開を中心に両国関係の正常化交渉プロセス等について協議した。

### (4) 米キューバ・ビジネス・カウンシルの設置

25日、ワシントンにおいて、米・キューバ・ビジネス委員会 (Consejo de Negocios) が発足し、オルランド・エルナンデス・キューバ商工会議所会頭及びドナヒュー全米商工会議所会頭が各代表団の団長を務めた。同委員会の設置は、戦略的な貿易関係の構築、企業セクターにおける関係の創設、及び両国のビジネスチャンスを支援することを目的とし

ている。

#### (5) 民間航空関係ミッションのキューバ訪問

9月28日及び29日、ハバナにおいて民間航空に関する技術会合が開催された。両国間の定期航空便就航開始に向け、空輸、航空機及び運航に係る保安等、両国の関心事項について協議され、両国は、本件会合を継続することで一致した。

### 3 EUキューバ政治対話

(1) 9日及び10日、ハバナにおいて、政策対話及び協力に関する協定の締結に向け第5回EU・キューバ会合が行われた。キューバ側は、アベラルド・モレノ外務次官が、EU側は、クリスチャン・レフラーEU対外活動庁米州担当総局長が、議長を務めた。

(2) 政策対話及び協力に関する協定の締結に向け、貿易部分の交渉は終了し、政策対話について、今後、差別撤廃、人権、武器の密輸等のテーマが議論される。

### 4 ディアスカネル国家評議会第一副議長の中国、北朝鮮訪問

(1) 9月3日、ディアスカネル第一副議長は、中国において開催された中国人民抗日戦争及び世界反ファシスト戦争勝利70周年記念大会に出席した。

(2) 2日、ディアスカネル副議長は李克強中国総理と会談し、両国の友好関係及び戦略的協力関係を拡大することで一致した。

### 5 ラウル・カストロ国家評議会議長の米国訪問及び国連総会出席

(1) 9月24日から28日にかけて、ラウル・カストロ議長は、国家元首として初めて米国を訪問し、第70回国連総会に出席した。

(2) 国連総会において、ラウル議長は、第70回国連総会一般討論演説、国連ポスト2015年開発アジェンダ・サミットにおける演説、国連ジェンダー平等と女性のエンパワーメントに関するグローバル・リーダーズ会合での演説を行った。

(3) また、米国訪問中、ロシア大統領、仏大統領、米国大統領、ベネズエラ大統領、モザンビーク大統領、スウェーデン首相、ガイアナ大統領、ベラルーシ大統領、国連事務総長、クリントン元米大統領、NY州知事、NY市長、米国議会関係者、米国企業関係者らと会談を行った。

### 6 ミクロネシア、マーシャル諸島、パラオとの外交関係樹立

### 7 チュオン・タン・サン・ベトナム国家主席のキューバ訪問

(1) 9月28日から30日、チュオン・タン・サン・ベトナム国家主席がキューバを公式訪問し、ラウル・カストロ国家評議会議長と会談した。

(2) 29日、両首脳同席の下、政府間協定の署名式典が行われ、高等教育における研究及び資格に関する二国間協定に加え、キューバ中銀とベトナム中銀との間の、銀行の監査

に係る情報の共有についての覚え書きが署名された。

(3) 30日に開催された企業フォーラムにおいて、キューバ商工会議所－ベトナム商工会議所間、キューバ中銀－ベトナム農業・農村開発銀行間、キューバ・インターナショナル・デ・コメルシオ銀行－ベトナム農業・農村開発銀行間の協定等、合計6件の協定が締結された。同フォーラムには、キューバ側よりカプリサス閣僚評議会第一副議長、マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣が出席した。

(4) サン国家主席は、ラウル議長よりホセ・マルティの叙勲を受けた。

## 8 コロンビア政府とFARCとの和平交渉における仲介

(1) 23日、ラウル・カストロ国家評議会議長の仲介により、サントス・コロンビア大統領とティモチェンコFARC最高司令官がハバナにて会談を行い、和平のための特別司法制度設置に合意する共同声明に署名した。

(2) サントス・コロンビア大統領は、コロンビア政府とFARCが、武装紛争を終結させるための和平最終合意への署名期限を2016年3月23日とすることで合意した旨発表した。

## 9 要人往来

### (1) 来訪

ムニョス・チリ外相

ポサダ・モレノ・スペイン議会議長

セルビア国会議長

バレラ・パナマ大統領、サイン・マロ副大統領及びアローチャ貿易産業大臣

アサンゴノ・赤道ギニア国会議長

ボコバ・ユネスコ事務局長

フェルナンデス・アルゼンチン大統領

サントス・コロンビア大統領

ガインゴブ・ナミビア大統領

サン・ベトナム国家主席

### (2) 往訪

ディアスカネル・キューバ国家評議会第一副議長の中国及び北朝鮮訪問

ラウル・カストロ国家評議会議長の米国訪問及び国連総会出席

ロドリゲス外相の国連総会出席